

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2006-181939 (P2006-181939A)

【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【年通号数】公開・登録公報 2006-027

【出願番号】特願 2004-379758 (P2004-379758)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/185 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 5 日 (2007.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被噴射媒体に液体を吐出する液体吐出ヘッドと、
前記被噴射媒体を支持し、且つ、前記被噴射媒体から外れて吐出された液体を受ける溝を有し、当該溝に前記液体を吸収する液体吸収材を装着する被噴射媒体支持部と、を備えた液体噴射装置の液体誘導部であって、

前記被噴射媒体支持部は、受けた液体を廃液部へ誘導するガイド面を有し、
前記ガイド面は、装着された前記吸収材を圧縮し、圧縮された前記吸収材の圧縮率が上流側から下流側へ徐々に増加するように構成されていることを特徴とする液体誘導部。

【請求項 2】

前記ガイド面が、下流側へ徐々に細くなるテーパ状に前記吸収材を圧縮することを特徴とする請求項 1 に記載の液体誘導部。

【請求項 3】

前記ガイド面の下流側が上流側の鉛直下方向に形成されたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の液体誘導部。

【請求項 4】

前記吸収材は、下流先端部の保水容量が他の部分の保水容量より小さくなるように形成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 に記載の液体誘導部。

【請求項 5】

前記吸収材は、下流先端部が尖った形状となっていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 に記載の液体誘導部。

【請求項 6】

前記ガイド面は、前記吸収材の下流先端部を絞る絞り機構を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 に記載の液体誘導部。

【請求項 7】

被記録媒体にインクを吐出して記録するインクジェット式記録装置であって、
請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の液体誘導部を備えたことを特徴とするインクジェット式記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】液体誘導部及び該液体誘導部を備えた記録装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的達成のため、本発明の液体誘導部では、被噴射媒体に液体を吐出する液体吐出ヘッドと、前記被噴射媒体を支持し、且つ、前記被噴射媒体から外れて吐出された液体を受ける溝を有し、当該溝に前記液体を吸収する液体吸収材を装着する被噴射媒体支持部と、を備えた液体噴射装置の液体誘導部であって、前記被噴射媒体支持部は、受けた液体を下方へ誘導するガイド面を有し、前記ガイド面は、装着された前記吸収材を圧縮し、圧縮された前記吸収材の圧縮率が上流側から下流側へ徐々に増加するように構成されていることを特徴としている。これにより、一つの材料から形成された液体吸収材を用いても、前記液体は毛細管現象により上流から下流へ確実に誘導されるので、前記液体の流動を促して廃液の処理を効果的に行うことが、面倒で煩雑な作業を行うことなく実現可能である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明の液体誘導部では、前記ガイド面の下流側が上流側の鉛直下方向に形成されたことを特徴としている。これにより、毛細管現象に加え、重力の作用により、前記液体の流動を促進して廃液の処理を更に効果的に行うことが可能である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の液体誘導部では、前記ガイド面は、前記吸収材の下流先端部を絞る絞り機構を備えていることを特徴としている。これにより、例えば、絞り機構等により下流先端部を絞ることにより、液体吸収材に吸収された液体を廃液部側へより確実に誘導することが可能である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記目的達成のため、本発明のインクジェット式記録装置では、被記録媒体にインクを吐出して記録するインクジェット式記録装置であって、上記各液体誘導部を備えたことを特徴としている。これにより、上記各作用効果を奏する記録装置または液体噴射装置を提供することができる。